

表 1 死因順位の選び方（昭和 54 年以降）

乳児を除く死亡		
簡単分類番号	死	因
1	コレラ	
2	腸チフス	
3	細菌性赤痢及びアメーバ症	
4, 72	胃腸炎	
5, 6	結核	
7	らい	
8	ジフテリア	
9	百日咳	
10	猩紅熱	
11	髄膜炎菌感染	
12, 84	破傷風	
13, 86	敗血症	
14	急性灰白髄炎	
15	痘瘡	
16	麻疹	
17	日本脳炎	
18, 19	ウイルス肝炎	
20	発疹チフス及びその他のリケッチア症	
21	マラリア	
22	梅毒	
23, 85	カンジダ症	
24	日本住血吸虫症	
25	フィラリア症	
28 - 37	悪性新生物	
38	良性及び性質不詳の新生物	
39	糖尿病	
40	栄養欠乏症	
41	貧血	
42	精神障害	
43	髄膜炎	
44	中枢神経系の非炎症性疾患	
45	急性リウマチ熱	
46, 51 - 52	心疾患	
54 - 56	高血圧性疾患	
48 - 49	脳血管疾患	
58 - 60	循環系のその他の疾患	
61	肺炎及び気管支炎	
62, 63, 66	インフルエンザ	
64	肺気腫	
67	喘息	
68	胃及び十二指腸潰瘍	
69	虫垂炎	
70	腹腔ヘルニア及び腸閉塞	
71	慢性肝疾患及び肝硬変	
73	肝疾患（肝硬変を除く）	
74	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	
76 - 77	前立腺肥大症	
78	妊産婦死亡	
79, 80	先天異常	
81	出生時外傷、低酸素症、分娩仮死及びその他の呼吸器病態	
82	その他の周産期の死因	
87	精神病の記載のない老衰	
88	不慮の事故及び有害作用	
E 104 - E 114	自殺	
E 115	他殺	
E 116	他	

乳児死亡		
乳児簡単分類番号	死	因
1	細菌性赤痢及びアメーバ症	
2, 26	胃腸炎	
3	結核	
4	ジフテリア	
5	百日咳	
6	破傷風（新生児破傷風を含む）	
7	敗血症（新生児敗血症を含む）	
8	急性灰白髄炎	
9	麻疹	
10	日本脳炎	
11	ウイルス肝炎	
12	梅毒	
15 - 16	悪性新生物	
17	良性及び性質不詳の新生物	
18	栄養失調症	
19	髄膜炎	
20	脳性小児麻痺	
21	心疾患	
22, 24	肺炎及び気管支炎	
23	インフルエンザ	
25	腹腔ヘルニア及び腸閉塞	
28 - 32	先天異常	
33 - 36	母側病態による新生児の障害	
38 - 39, 40	出生時外傷、低酸素症、分娩仮死及びその他の呼吸器病態	
41	詳細不明の未熟児	
42	同種免疫による新生児溶血性疾患	
43	その他の周産期黄疽	
44, 45	新生児の出血及び新生児出血性疾患	
E 51 - E 53	不慮の事故及び有害作用	
E 54	その他の外因	

表 2 死因順位の選び方（昭和 43 年から昭和 53 年まで）

乳児を除く死亡		
国際 50 項目死因分類番号	死	因
B 1	コレラ	
B 2	腸チフス	
B 3	細菌性赤痢およびアメーバ症	
B 4, B 46, E	胃腸炎	
B 5, B 6	全結核	
B 7	ペスト	
B 8	ジフテリア	
B 9	百日咳	
B 10	レンサ球菌性咽頭炎および猩紅熱	
B 11	髄膜炎菌感染	
B 12	急性灰白髄炎	
B 13	痘瘡	
B 14	麻疹	
B 15	チフスおよびその他のリケッチア症	
B 16	マラリア	
B 17	梅毒および続発症	
B 18. a	類	
B 18. b	破傷風	
B 18. c	敗血症	
B 18. d	日本脳炎	
B 18. e	伝染性肝炎	
B 18. f	カンジダ症	
B 18. g	日本住血吸虫症	
B 18. h	糸状虫症	
B 19	悪性新生物（リンパおよび造血組織の新生物を含む）	
B 20	良性および性質不詳の新生物	
B 21	糖尿病	
B 22	ビタミン欠乏症およびその他の栄養欠乏症	
B 23	貧血	
B 24	髄膜炎	
B 25	活動性リウマチ熱	
B 26, B 28, B 29	心疾患	
B 27	高血圧性疾患	
B 30	脳血管疾患	
B 31	インフルエンザ	
B 32, B 33 a	肺炎および気管支炎	
B 46. d	肺気腫	
B 33. b	喘息	
B 33. c	消化性潰瘍	
B 34	虫垂炎	
B 35	腸閉塞およびヘルニア	
B 36	肝硬変	
B 37	腎炎およびネフローゼ	
B 38	前立腺肥大症	
B 39	妊娠、分娩および産褥の合併症	
B 40, B 41	先天異常	
B 42	出生時損傷、難産およびその他の無酸素症、低酸素症	
B 43	その他の周産期の死因	
B 44	精神病の記載のない老衰	
B 45. a	精神障害	
B 46. a	中枢神経系の非炎症性疾患	
B 46. b	肝臓の疾患（肝硬変を除く）	
B 46. f	不慮の事故	
BE 47, BE 48	自殺	
BE 49	他殺	
BE 50 a	他	

乳児死亡		
S 分類番号	死	因
S 1	細菌性赤痢およびアメーバ症	
S 2, S 24	胃腸炎	
S 3	結核	
S 4	ジフテリア	
S 5	百日咳	
S 6	丹毒	
S 7	破傷風	
S 8	敗血症	
S 9	急性灰白髄炎	
S 10	麻疹	
S 11	日本脳炎	
S 12	梅毒およびその続発症	
S 14	悪性新生物（リンパおよび造血組織の新生物を含む）	
S 15	良性および性質不詳の新生物	
S 16	栄養失調症	
S 17	髄膜炎	
S 18	脳性けい小児麻痺	
S 19	心疾患	
S 20	インフルエンザ	
S 21, S 22	肺炎および気管支炎	
S 23	腸閉塞およびヘルニア	
S 25	先天異常	
S 26	出生時損傷、難産およびその他の無酸素症、低酸素症	
S 27	母体の妊娠時の疾患による新生児の障害	
S 28	新生児溶血性疾患	
S 29	詳細不明の未熟児	
S 30	新生児の出血性疾患	
S 31	新生児の黄疸	
S 32	その他の新生児の異常	
S 34	不慮の事故	
S 35	その他の外因死	

注：昭和 42 年以前の死因順位の選び方は昭和 53 年人口動態統計上巻 75 ページ付表 3 を参照されたい。